

ひふみのあゆみ 2010年5月7日号

ひふみ投信 2010年4月度 ご報告書

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会: 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会



運用責任者から皆さまへのメッセージならびに2010年4月の運用状況などをご報告いたします。

運用責任者からお客様へ

◆ 4月の投資環境(株式市場等での出来事)について

3月下旬に1年半ぶりに11,000円台を回復した日経平均株価は、4月5日に11,408.17円まで上昇して今年の高値を更新しました。しかし中旬以降は、海外要因で次第に売りが優勢となり、月末にかけて11,000円前後で推移し、月末の終値は3月末より0.29%安い11,057.40円でした。

ネガティブな海外要因の主なものには、以前から続いているギリシャなど財政問題を抱えた欧州諸国と、アメリカの証券取引委員会(SEC)が金融大手のゴールドマン・サックスを証券詐欺の容疑で追訴したことが挙げられます。ギリシャ問題については、EU(欧州連合)とIMF(国際通貨基金)による金融支援の表明が好感される反面、その後は支援する欧州各国の財政負担や問題解消への懸念、そして財政問題を抱えた国々の国債格下げに伴う負の連鎖懸念が生じたりと方向感が定まらず、動向の一つ一つが株式・債券や為替相場に大きな影響を与えました。また、ゴールドマン・サックス提訴の件が発表された後は、日経平均株価が乱高下する場面がありました。金融機関への規制強化の流れが世界的に強まるという懸念から、買いの手が続きにくい相場となりました。

なお、一方でTOPIX(東証株価指数:東証一部上場全銘柄で構成)は3月末より0.84%上昇しています。上昇に貢献した業種(電機など)を見ると好決算企業が目立ち、こうした企業への海外投資家の物色意欲は根強く、4月に関しては日経平均株価よりもTOPIXが実体を表しているようにも見受けられました。

◆ 4月の「ひふみ投信」の運用ならびに今後について

(今後の運用や見直しについては、市場動向等の変化によって、変更することがあります)

4月初旬に、大型株や輸出ハイテク銘柄を中心に、保有株式数の全てではなく一部だけを売却しました。この背景には、今年の3月から4月にかけて、世界的な株式市場の急騰にともない日本株も大幅に上昇し、相場に過熱感が高まっていると考えたことがあげられます。短期的には株式市場が下落する可能性の方が高いと考えて、総資産に対する株式の組入比率を一時的に下げる戦略をとりました。同時に輸出ハイテク銘柄のウエイトを引き下げましたが、これは、短期的な株価上昇に加え、ギリシャ問題や中国の人民元切上観測により円高へ転じた際に株価が下落する可能性を懸念したからです。なお、輸出ハイテク銘柄は長期的な視点で見たときにはまだまだ妙味のある銘柄だと考え、組入比率を減らしながらも継続して保有しています。

外需銘柄の組入れを調整する一方で、朝日印刷などのニッチな分野で堅い成長が見込める内需銘柄のウエイトを引き上げたり、ソフトバンクも内需成長株として組入を再度行ないました。

ギリシャを始めとする欧州の信用問題に端を発するユーロおよび欧州株式の下落に加えて、5月7日にはニューヨーク市場でも一時1万ドルを切るような大きな株価下落に見舞われるなど、様々なマイナス要因につられて日本の株式市場のベクトルは短期的には下に向きつつあります。しかし、このような時期は、業績と比較して割安になっている株式に投資するチャンスと考え、今後の戦略をたててまいります。

(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見直し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

ひふみ投信の基準価額について

2010年4月30日時点の基準価額

1万口当り **12,534円**

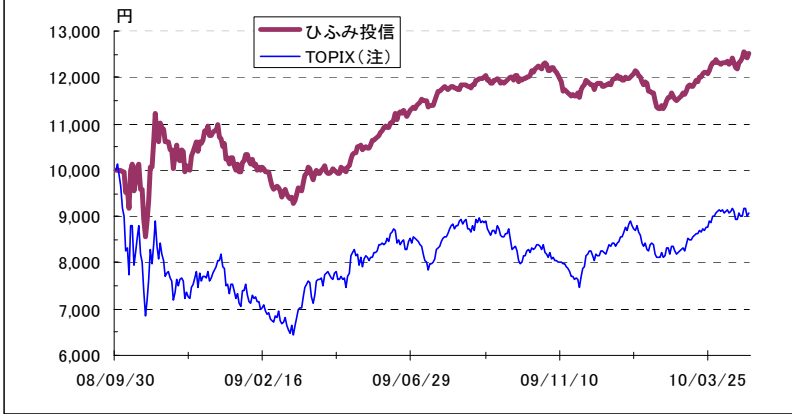
(基準価額とは「ひふみ投信」の値段の事です)

■ 運用成績について

基準価額のおゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1カ月	1.68%	0.84%
過去3カ月	5.65%	9.53%
過去6カ月	3.09%	10.32%
過去1年	24.47%	17.81%
設定来	25.34%(※1)	-9.23%(※2)

※1 設定来の基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から2010年4月30日までににおける数値です。
 ※2 設定来のTOPIX騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から2010年4月30日までににおける数値です。

■ 基準価額の推移



(注) TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(1087.41)を10,000として指数化しています。
 ※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

支払い済分配金	
第1期(2009年9月30日)	0円
設定来合計	0円

ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。
 TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)を指数化したものです。日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

ひふみ投信の資産内容について (2010年4月30日時点)

■ 資産の内訳

純資産総額	5.18億円
うち 株式	74.01%
うち 預金その他	25.99%
受益権総口数 (※)	413,642,679口

国別の割合	
日本株式	100%
海外株式	0%

(※・・・「ひふみ投信」をお持ちのお客様の保有口数合計です)

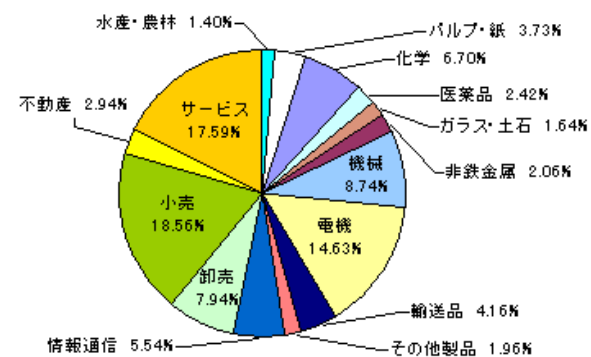
■ 組入比率の高い銘柄

(組入銘柄数:43銘柄)

銘柄コード	銘柄名	業種	比率
1	4755 楽天	サービス	3.52%
2	6967 新光電気工業	電機	3.24%
3	5949 ユニプレス	輸送品	3.08%
4	9984 ソフトバンク	情報通信	2.85%
5	3951 朝日印刷	パルプ・紙	2.76%
6	8113 ユニ・チャーム	化学	2.64%
7	6301 小松製作所	機械	2.57%
8	7522 ワタミ	小売	2.56%
9	4775 総合メディカル	小売	2.51%
10	6594 日本電産	電機	2.44%

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

■ 組入銘柄の業種比率



(注)業種比率は、「株式資産」を100として、それに対する割合です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
 ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
 ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

- ◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません
申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。
なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。
- ◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～
コミュニケーション・センター 電話： 03-6266-0123 (平日9時～17時) メール：cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。